

学:口底部と上顎の神経・血管の走向と損傷リスク. 新潟市歯科医師会北2班講演会, 新潟, 2025年9月19日.

- 13) 大島勇人:インプラント臨床に役に立つマクロ解剖学. 日本橋インプラントセンター研修会, 東京, 2025年9月25日.
- 14) 大島勇人:実習室で確認! 歯科治療で配慮すべき解剖学的留意点. 令和7年度東京形成歯科研究会解剖実習スキルアップセミナー, 新潟, 2025年10月5日.
- 15) 大野佑樹, 大島秀介, 植木雄志, 堀井 新, 大島勇人, 依田浩子: The role of AMP-activated protein kinase (AMPK) in salivary gland differentiation. 第32回みかんの会, 新潟, 2025年10月22日.
- 16) 大島勇人: 歯髄の生物学的特性と再生能の観点から歯髄保護を考える. 東京歯科大学 第519回大学院セミナー, 東京, 2025年10月29日.
- 17) Ohshima H, Quispe-Salcedo A, Ohshima R: *Osteopontin* deficiency disturbs reparative dentin/dentin bridge formation after cavity preparation/direct pulp capping with mineral trioxide aggregate. Japan (Iwate Medical University)-Korea (Yonsei University) Joint Seminar between JSPS and NRF, 博多, 2026年2月22-23日.
- 18) 大島勇人, 高橋 克: (企画) 第24回日本再生医療学会総会, シンポジウム 歯科再生の社会実装へ向けた strategy, 1. 高橋 克, 杉並亜希子: 歯の再生治療薬抗 USAG-1 抗体の社会実装; 2. 高木淳一, 三原恵美子: バイオ医薬の社会実装と AMED BINDS 支援~抗原生産から特殊抗体創出、遺伝子治療ベクター開発まで~; 3. 時田義人: 先天性無歯症の遺伝学; 4. 竹立匡秀, 村上伸也: 脂肪組織由来多系統前駆細胞を用いた歯周組織再生医療の社会実装への取り組み; 5. 喜早ほのか: 歯科再生における産学連携とベンチャー企業の挑戦ートレジェムバイオフーマの役割, 第25回日本再生医療学会総会, 横浜, 2025年3月20-22日.
- 19) 原田英光, 大島勇人: (企画) 歯の発生の会・歯科再生会議第30回産学連携フォーラム「接合上皮から歯周病予防を考えるー歯を守る最前線」, 幕張, 2025年3月16日.
- 20) 大島勇人: 世界で最も影響力のある科学者トップ2% (2024年「生涯」区分)
- 21) 常木雅之: 世界で最も影響力のある科学者トップ2% (2024年「単年」区分)
- 22) 大島勇人, 江草 宏: (企画) 第25回日本再生医療学会総会, シンポジウム 17 歯科再生医療の現状と展望, 1. 江草 宏: 幹細胞を利用した再生歯科補綴学の創成; 2. 大庭伸介: 骨形成プログラムの

理解とその再生医療への応用; 3. 丸川恵理子: 歯科インプラントにおける再生医療の現状と今後の可能性; 4. 窪木拓男: 骨形成タンパクを用いた顎骨再生治療の展開; 5. 美島健二: 唾液腺の再生治療戦略; 6. 高橋 克: 先天性無歯症患者の欠如歯を再生する新規抗体医薬品の開発, 第25回日本再生医療学会総会, 横浜, 2026年3月19-20日.

- 23) 大島勇人: 歯髄の生物学的特性と再生能の観点から歯髄保護を考える. 東京医科歯科大学大学院特別セミナー, 東京, 2025年1月30日.
- 24) Angela Quispe-Salcedo: The role of stem cells on regenerative endodontic treatments [In Spanish: El rol de las células madre en los procedimientos endodónticos regenerativos]. Residency program in Endodontics, Faculty of Dentistry, National University of San Marcos, Peru (On line), 2025年04月10日.
- 25) 大島勇人: 若手研究者がストレスなく効率的に英語学術論文を作成するコツについて. 新潟大学大学院保健学研究科リサーチ・メソッズ・アドバンス, 新潟, 2025年6月21日.
- 26) 大島勇人: 歯と歯根周囲の組織学・歯根と歯髄腔の解剖学・歯の痛みの生理学. 神奈川歯科大学特別講義, 横須賀, 2025年8月26日.
- 27) 大島勇人: EPMA 入門, 新潟大学大学院自然科学研究科大型機器分析技術, 新潟, 2025年8月27日.
- 28) 大島勇人: 組織学の研究法. 新潟大学医学部保健学科特別講義, 新潟, 2025年10月23日.
- 29) Angela Quispe-Salcedo: Biological basis for the use of triple antibiotic paste (3Mix-MP) [In Spanish: Fundamentos biológicos para el uso de la pasta triple antibiótica (3Mix-MP)]. Residency program in Pediatric Dentistry, Faculty of Dentistry, Los Andes University, Chile (On line), 2025年12月04日.
- 30) 大島勇人: 歯の外的侵襲後の歯髄治癒過程における細胞・細胞外マトリックス相互作用. 東京医科歯科大学大学院特別講義, 東京, 2026年3月5日.

口腔病理学分野

【著書】

- 1) 田沼順一: 非腫瘍性疾患病理アトラス 頭頸部 第1版 分担執筆者 p212-215. 文光堂.
- 2) 田沼順一: 鑑別の森 第1版 分担執筆者 口腔上皮の反応異型と上皮内扁平上皮癌 p10-15. 文光堂.

【論文】

- 1) Kano H, Kato Y, Fukui S, Maruyama S, Kobayashi T: Development of a surgical ciliated cysts after maxillary sinus floor augmentation for dental implants: a case report and review of the literature. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 37: 1018-1021, 2025.
 - 2) 阿部達也, 丸山 智, 山崎 学, 田沼順一. 口腔粘膜病変の病理診断: 現状と課題, 生検検体で考慮すべき鑑別疾患. *診断病理* 42: 263-71, 2025.
 - 3) Takamura K, Ajioka Y, Abé T, Gritcun T, Takashima S, Kondo S, Tani Y, Ohashi R: Progression of dysplasia in sessile serrated lesions with proliferative zone redistribution: “Top-down growth” as a marker of malignant potential. *Virchows Arch* 487: 389-99, 2025.
 - 4) Yamagata Y, Takahashi T, Ohshima S, Omata J, Yokoyama Y, Shodo R, Ueki Y, Abé T, Umezu H, Horii A: Pre-epiglottic adenocarcinoma NOS presenting as a cystic mass: a diagnostic challenge and surgical management. *Oral Oncol* 167: 107451, 2025.
 - 5) Kurita H, Uzawa N, Nakayama H, Abe T, Ibaraki S, Ohyama Y, Uchida K, Sato H, Miyabe S, Abé T, Kakimoto N, Kaida A, Sugiura T, Kioi M, Danjo A, Kitamura N, Hasegawa O, Tanaka T, Ueda N, Hasegawa T, Asoda S, Katsuta H, Yanamoto S, Yamada S, Takeda D, Suzuki T, Ohta Y, Kirita T: Japanese clinical practice guidelines for oral cancer, 2023. *Int J Oral Maxillofac Surg* 54: 461-76, 2025.
 - 6) Imai Y, Kishimoto N, Koyama Y, Sango K, Takeuchi K, Yamazaki M, Tanuma J, Tran SD, Seo K: Effects of Adipose-Derived Stem Cell Extract on Peripheral Nerve Cells. *Cureus* 17(10): e94180, 2025.
 - 7) Haga K, Kamimura Y, Yamazaki M, Funayama A, Saito Y, Kida M, Tanuma J, Izumi K: Quantitative and longitudinal monitoring of cancer cell invasion in a three-dimensional in vitro model of oral cancer using optical coherence tomography. *Sci Rep* 15: 45449, 2025.
 - 8) Sakurai K, Tomihara K, Yamazaki M, Tanuma J, Yamada S: High CD36 Expression Predicts Aggressive Invasion and Recurrence in Oral Squamous Cell Carcinoma. *Int J Mol Sci* 26(24): 12071, 2025.
 - 9) Takamura M, Kobayashi T, Nikkuni Y, Katsura K, Yamazaki M, Tanuma J, Hayashi T: Evaluation of factors affecting depth of invasion measurement in tongue cancer using intraoral ultrasonography. *Dentomaxillofac Radiol* 55(1): 80-87, 2026.
 - 10) Zhang LE, Guo Y, Sumita Y, Hirai H, Yamazaki M, Hayashi T, Tanuma J, Tomihara K: Does chemotherapy improve the prognosis in patients with jaw osteosarcoma? A systematic review and meta-analysis. *Int J Oral Maxillofac Surg* 55: 10-19, 2026.
 - 11) Zhang LE, Guo Y, Yamazaki M, Hiraia H, Tanuma J, Tomihara K: Perineural invasion predicts poor prognosis in oral squamous cell carcinoma: A systematic review and meta-analysis. *J. Stomatol Oral Maxillofac Surg* 127: 102745, 2026.
 - 12) Takeuchi R, Haga K, Saito N, Hayashi T, Tanuma J, Funayama A: Bloom syndrome with mandibular gingival carcinoma: a case report. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 2026.10.1016/j.ajoms.2026.03.09.
- 【商業誌】**
- 1) 阿部達也: 口腔扁平上皮癌の側方上皮内進展と間質浸潤: 病理学的解析とその相反制御に関わる因子. *Medical Science Digest* 51(1): 54-55, 2025.
 - 2) 丸山 智: 腫瘍細胞が作り出す独自の腫瘍微小環境としての細胞外基質. 月刊「細胞」57(3): 162-163, 2025.
 - 3) 味岡洋一, 岸本光夫, 阿部達也: 大腸癌の病理. 画像診断 45(7): 634-43, 2025.
- 【研究費獲得】**
- 1) 丸山 智: 細胞外基質環境下で CD73-CXCL10 経路が腫瘍自己制御機構に果たす役割の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 24K13110, 2024 年 4 月 - 2027 年 3 月.
 - 2) 山崎 学: 死細胞由来の異所性核酸がもたらす口腔がん免疫逃避機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 24K13156, 2024 年 4 月 - 2027 年 3 月.
 - 3) 阿部達也: 口腔・頭頸部扁平上皮癌における RNA 選択的スプライシングの病理学的意義の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 24K12895, 2024 年 4 月 - 2027 年 3 月.
 - 4) 阿部達也: 頭頸部癌 mRNA 選択的スプライシングの病理学的意義に関する国際共同研究. 日本学術振興会科学研究費補助金. 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化), 24KK0283, 2025 年 4 月 - 2028 年 3 月.
 - 5) 田沼順一: シングルセル RNA-Seq 解析を利用した口腔癌微小環境の分子機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 23K09150, 2023 年 4 月 - 2026 年 3 月.
 - 6) 田沼順一: 口腔癌関連悪液質の改善を目指した漢方薬の抗炎症作用実証 —モデル動物を用いた基礎研究—. ツムラ株式会社・共同研究費. 2024 年 4 月 - 2028 年 3 月.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 田沼順一: 今日から歯間ブラシで始まる口腔細胞診ー早く・安く・正確な口腔細胞診ー. 2025年度新潟大学歯学部同窓会学術講演会, 2025年4月20日, 新潟.
- 2) 田沼順一: 知っておきたい口腔トラブルへの漢方薬入門 WEB セミナー. 株式会社ツムラ, 2025年5月26日, 新潟.
- 3) 田沼順一: 日常診療の際に役立つ口腔粘膜疾患の鑑別と対処法. 第40回 鹿児島県臨床細胞学会教育講演, 2025年8月17日, 鹿児島.
- 4) 宇佐美悠, 片瀬直樹, 丸山 智: 口腔上皮性異形成(OED) ワーキンググループからの報告 2. 第36回日本臨床口腔病理学会総会, 2025年9月4日, 岡山.
- 5) 田沼順一: 漢方薬リポジショニング: 口腔がん患者及び高齢者に対するオーラルフレイル・サルコペニア改善戦略. 第41回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」日本歯科医学会, 2026年1月17日, 東京.

【学会発表】

- 1) 小林亮太, 平井秀明, 上野山敦士, 齋藤夕子, 隅田賢正, 木口哲郎, 磯野俊仁, 山崎 学, 田沼順一, 林 孝文, 富原 圭: 噛みタバコ使用者に発生した頬粘膜扁平上皮癌の1例. 第63回日本口腔科学会北日本地方部会 第51回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 2025年5月31-6月1日, 札幌, 同学会プログラム抄録集, 53, 2025.
- 2) 園辺 悠, 相澤有香, 張 魯慶, 平井秀明, 新國農, 山崎 学, 濃野 要, 林 孝文, 田沼順一, 富原 圭: EGFR 標的 PCE 療法の個別化に向けた宿主因子の解析: 腫瘍関連血小板の関与における新知見と未来戦略. 令和7年度新潟歯学会第2回例会, 2025年11月8日, 新潟, 新潟歯学会雑誌 55 (2): 60 頁, 2025.
- 3) 大石章鷲, 金井爽海, 阿部達也, 木口哲郎, 平井秀明, 山崎 学, 田沼順一, 奥田修二郎, 富原 圭: ヒトマイクロバイオーム研究の新展開ー舌癌組織における細菌ゲノムの同定. 令和7年度新潟歯学会第2回例会, 2025年11月8日, 新潟, 新潟歯学会雑誌 55 (2): 60 頁 2025.
- 4) Zhang L, Sonobe Y, Hirai H, Yamazaki M, Tanuma J, Tomihara K: Integrating machine learning with multi-omics analysis to reveal the prognostic value of perineural invasion in head and neck squamous cell carcinoma. 令和7年度新潟歯学会第2回例会,

2025年11月8日, 新潟, 新潟歯学会雑誌 55 (2): 64 頁, 2025.

- 5) Abé T: Alternative splicing signatures of mRNA in head and neck squamous cell carcinoma and pathological significance: TCGA database analysis. SGPath/SSPath 90th annual congress 2025, 2025年11月20-22日, Zurich, program: 20 頁, 2025.
- 6) Haga K, Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Tanuma J: Identification of early detection markers of oral potentially malignant disorders and oral squamous cell carcinoma using oral liquid-based cytology. The 22nd International Congress of Cytology, 2025年5月11-14日 Firenze, program: 25 頁, 2025.
- 7) 田沼順一, 丸山 智, 阿部達也, 羽賀健太, ケマスアレックス, 川崎真依子, 山崎 学: がん性悪液質モデル動物作成及びサルコペニアに対するQOL改善の解析. 第84回日本癌学会総会, 2025年9月25日, 金沢, 同学会プログラム抄録集, 53 頁, 2025.
- 8) 相澤有香, 羽賀健太, 阿部達也, 丸山 智, 山崎学, 田沼順一, Larasati PP, 泉 健次, 富原 圭: 患者由来細胞を含む3D器官型 in vitro 口腔癌モデルの開発と応用展開, 第84回日本癌学会総会 2025年9月25日, 金沢, 同学会プログラム抄録集, 66 頁, 2025.
- 9) 浅見栄里, 羽賀健太, 長谷部大地, 阿部達也, 丸山智, 田沼順一, 林 孝文, 船山昭典: 10代男性の下顎骨内に生じた埋伏歯を伴わない腺腫様歯原性腫瘍の1例. 第70回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2025年11月4-5日, 福岡, 同学会プログラム抄録集, 69 頁, 2025.
- 10) 高村真貴, 小林太一, 新國 農, 勝良剛詞, 山崎学, 田沼順一, 林 孝文: 口腔内超音波診断による口腔扁平上皮癌の頬筋浸潤の診断基準に関する検討: 予備的研究. 日本歯科放射線学会 第6回秋季学術大会, 2025年9月12日, 大阪, 同学会プログラム抄録集, 26 頁, 2025.
- 11) 阿部達也, 凌 一葦, 奥田修二郎, 山崎 学, 丸山智, 田沼順一: 頭頸部扁平上皮癌における選択的スプライシングシグネチャーと臨床病理学的表現型の解析. 第114回日本病理学会総会, 2025年4月17日, 仙台, 同学会プログラム抄録集, 297 頁, 2025.
- 12) 山崎 学, 阿部達也, 丸山 智, 田沼順一: 口腔扁平上皮癌における cGAS-STING 経路活性化の意義. 第114回日本病理学会総会, 2025年4月18日, 仙台, 同学会プログラム抄録集, 390 頁, 2025.

- 13) 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 田沼順一: 低酸素腫瘍微小環境下での CD73-CXCL10 経路による唾液腺多形腺腫由来細胞の生存機構. 第 114 回日本病理学会総会, 2025 年 4 月 18 日, 仙台, 同学会プログラム抄録集, 39 頁, 2025.
- 14) 竹内涼子, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 長谷部大地, 新國 農, 林 孝文, 丸山 智, 田沼順一, 船山昭典: 再発のみられた単純性骨嚢胞様の空洞化を伴ったセメント質骨性異形成症の 1 例. 第 79 回日本口腔科学会総会・学術大会, 2025 年 5 月 16 日, 松本, 同学会プログラム抄録集, 25 頁, 2025.
- 15) 丸山 智, 阿部達也, 橋本和彦, 中島 啓, 辺見卓男, 柳下寿郎, 宇佐美悠, 常松貴明, 河合穂高, 片瀬直樹, 石川文隆, 森 泰昌, 長塚 仁, 田沼順一: 口腔上皮性異形成 (OED) ワーキンググループからの報告 (第二報). 第 36 回日本臨床口腔病理学会総会, 2025 年 9 月 4 日, 岡山, 同学会プログラム抄録集, 97 頁, 2025.
- 16) 有地淑子, 杉田好彦, 小椋一朗, 岡田康男, 小西勝, 湯浅賢治, 田沼順一, 富岡寛文, 小林太一: 口腔癌 DOI 評価におけるポケットオーラルエコーの試用経験. 第 43 回日本口腔腫瘍学会, 2026 年 2 月 14 日, 宇都宮, 同学会プログラム抄録集, 26 頁, 2026.

歯科薬理分野

【原著論文】

- 1) Meguro F, Kawasaki K, Kakihara Y, Kawasaki M, Fukushima M, Sari FT, Utama V, Kesuma A, Nihara J, Kudo T, Fujita A, Ichikawa K, Osawa K, Maeda T, Tabeta K, Saeki M, Ohazama A: DNA repair during embryonic epidermal stratification. *Dev Dyn*. 255(5):475-485, 2025.
- 2) Iwamoto Y, Piriyaaprasath K, Yusuf ASH, Hasegawa M, Kakihara Y, Sato T, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Daily Administration of Agmatine Reduced Anxiety-like Behaviors and Neural Responses in the Brains of Male Mice with Persistent Inflammation in the Craniofacial Region. *Nutrients*. 17(11):1848, 2025.
- 3) Yoshida N, Maekawa T, Sekiguchi K, Kaku M, Sirisereephap K, Surboyo M, Sato-Yamada Y, Rosenkranz A, Hosoya A, Ohkura N, Kakihara Y, Maeda T, Hajishengallis G, Izumi K, Yoshida K: Loss of integrin alpha7-mediated signaling induces a dendritic cell-like phenotype in macrophages cultured on laminin-211/221 isoforms. *J Biol Chem*. 301(8):110419, 2025.
- 4) Sáez-Chandía J, Castillo-Quispe S, Okamoto K, Kurahashi A, Kodaira K, Aihara K, Suzuki-Barrera K, Kaku M, Mikami Y, Terunuma M, Yamamura K, Hayashi T, Saeki M, Kakihara Y: Effects of Freeze-Dried Sake Lees and Rice Koji Extract on Osteoporosis in a Postmenopausal Mouse Model. *Nutrients*. 17(19):3077, 2025.
- 5) Thant L, Dobashi A, Kitami M, Phyu HP, Kobayashi M, Ono Y, Kakihara Y, Matsumoto M, Kaku M: Chemical Digestion-Assisted Proteomics Reveals the Extracellular Matrix Profile of Human Periodontal Ligament and its Alterations in Cultured Cell-Derived Extracellular Matrix. *Mol Cell Proteomics*. 24(12):101460, 2025.

【研究費獲得】

- 1) 三亀啓吾, 柿原嘉人(分担)他: 生理活性発現に適したリグニンの分子設計と精密分解による機能化. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(B), 24K01890, 2025.(継続)
- 2) 加来 賢, 柿原嘉人(分担)他: 細胞外マトリックスが制御する幹細胞分化の解明と歯根膜再生への応用. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(B), 24K02630, 2025.(継続)
- 3) 長谷川真奈, 柿原嘉人(分担)他: ストレスによる高位脳の機能変調が顔面痛を増大させる中枢メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 24K13111, 2025.(継続)
- 4) 柿原嘉人(代表): 骨芽細胞の I 型コラーゲンと基質小胞の分泌経路における Rab タンパク質の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 23K09117, 2025.(継続)
- 5) 岡本圭一郎, 柿原嘉人(分担)他: トレッドミル走がストレス誘発性の顔面痛を軽減する脳メカニズム. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 23K09391, 2025.(継続)
- 6) 船山昭典, 柿原嘉人(分担)他: 口腔癌進展における癌関連線維芽細胞 (CAFs) の TGF- β シグナルの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 22K10143, 2025.(継続)

【学会発表】

- 1) S. Castillo-Quispe, 柿原嘉人, 照沼美穂: 代謝物プロファイリングに基づく破骨細胞分化を調節する酒粕由来化合物の同定. 第 65 回新潟生化学懇話会, 長岡, 2025 年 10 月 18 日.
- 2) 柿原嘉人, J. Sáez-Chandía, S. Castillo-Quispe, 岡本圭一郎, 加来 賢, 照沼美穂: 酒粕と米麴抽出物によ